

# “所沢市文化芸術振興ビジョン”のえがくもの

10年、20年先の所沢の「文化芸術」がどんな表情をしているのか

今現在の所沢のもつ魅力的なポテンシャル

- ・みどり豊かなロケーションとアクセスの良さ
- ・恵まれた有形・無形の文化資源
- ・多彩な人材・企業・団体と教育機関
- ・成熟した市民文化活動

直面する将来に向けた課題

- ・文化拠点の公共的役割と経営感覚のバランス
- ・少子高齢社会や多様化する価値観への支援策
- ・独自の郊外型文化圏形成の可能性
- ・市民文化と都市文化の支援のバランス

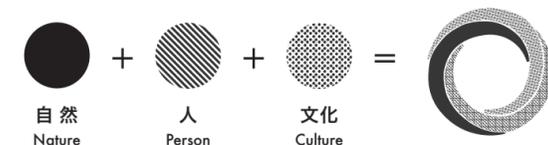
ビジョンではこれらを見据えて所沢ならではの将来像を検証

## 所沢ニュー・サバービア

～みどり豊かな郊外型文化圏の目指すべき姿を提案します～



所沢市文化芸術振興ビジョンロゴマーク



自然  
Nature

人  
Person

文化  
Culture

所沢市の目指す、みどりと文化と人が調和したまちづくりをイメージとして、3つのモチーフが混ざり合い、調和していくイメージを表しています。

また、「文化を楽しむ」、「文化を魅せる」、「文化をつむぐ」の三要素の意味も兼ね備えています。

全てが一つとなり新しい所沢市として調和していく姿です。



自然  
Nature

所沢には、ちょっと足をのばせば豊かなみどりを生かした公園や、四季折々の草花を楽しめるエリアが多数存在します。都心から30kmという便利な立地でありながら、みどり豊かな都市空間は人々に一幅の清涼剤、心のオアシスとしての役割をもたらします。自然の中で、ゆったりとした心地よい暮らしをしてみませんか。

狭山丘陵

多くの動植物が息づく、武蔵野の里山の風景が残る自然のオアシス。映画「となりのトトロ」の舞台のモデルの一つとなったとも言われています。



人  
Person

まちの主役は人です。人と人との繋がりが文化を発展させていきます。所沢には、人々が自然や文化にふれ、楽しみながら何かを創造する機会にあふれており、あらゆる人が文化活動をしやすい土壌があります。自分の選択一つで、なんでもできるまちなのです。

空飛ぶ音楽祭

所沢航空記念公園と市民文化センターミュージズで行われた、音楽が盛んな風土と空とみどりに囲まれたロケーションを生かした新しいタイプの野外音楽イベントです。



文化  
Culture

都会の喧騒から離れ、かといって隠遁するような彼方ではなく、ちょうどいい距離感にちょうどいい環境がある。安定した都市機能とほどよい自然のバランスがとれたまち、その唯一無二の地が所沢です。ここでは大小存在する様々な文化的素材を気ままに選んで、自由に楽しむことができます。

引込線

2008年から隔年で開催している現代美術展。様々な領域で活躍する美術家・執筆者が主体となり、テーマを持たず、それぞれが自らの表現を追い求め創作活動を行っています。